

区分	職員の チェック項目	放課後デイサービスあゆむ2 事業所の現状評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	60.0	20.0			入り口は段差解消のスロープがある。学習と活動するスペースが一緒になっているので、活動時に机を部屋の隅に移動する必要がある。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	60.0	40.0			配置基準より1名常勤数は多く、さらに非常勤職員も配置している。 (児童指導員2名と看護職員1名、こうS人心理士1名の配置)。職員名札をつけており、名札に職種を明記しております。 送迎時等に職種と名前を伝えるようにします。 例) 児童指導員の〇〇です。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40.0	60.0			車いす用のスロープがある。 手すりについては施設内の状況を確認して設置を検討します。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と振り返り)に広く職員が参画している	100.0				ミーティングを毎日行い確認と振り返りを行っている。 感染予防も含め今後も楽しく過ごす場所の確保に努めます。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0				毎年ガイドラインのアンケートや日々の保護者の会話から意見を聞いて改善している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0				毎月ホームページには公開しています。 結果を保護者の配布でご意見を頂きたいと思えます。
	7 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	100.0				コロナ禍で外部の人を積極的に来ていただくことは難しいが、随時来所時に結果を見ていただくようにします。 月に1回~2回程度公認心理士の先生の助言をいただいています。第3者委員会の外部評価を積極的に実施していきたいと思えます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0				公認心理士による研修会を月に1回程度行い、併せて事例検討も実施しています。愛媛県等から案内がある研修会には参加するようにしています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメント等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後デイサービス計画を作成しているか	100.0				初回時の面接やモニタリング時には相談支援専門員と一緒に訪問や面談を行うことが多い。年に1回程度学校の先生との連携も持つようにしている。モニタリング時や関係機関との面談の際に保護者にもわかりやすい言葉でお伝えするようにします。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100.0				利用児の要望にどうしたら近づけられるか相談し合う。毎月新しい活動を取り入れる。
	11 活動プログラムをの立案をチームで行っているか	100.0				児童発達支援管理責任者を中心に児童指導員や看護師、公認心理士がそれぞれの立場で支援について話し合いを行っています。
	12 活動プログラムを“固定化”しないように工夫されているか	100.0				月1回利用児の要望を聞きとり翌月リクエストに応えたり、形式を似せたりしている。主に長期休業時に取り入れている。新しい活動を実施する時には内容の目的等を直接お伝えする機会を増やして説明します。
	13 平日・休日・長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100.0				ゆとりを持ったスケジュールで、放課後時にはできないプログラムを取り入れる等している。 長期休暇時は近くの公園に行き、来ている子ども達と一緒に順番を守って遊べるように支援を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0				それぞれの児の特性に応じた活動の内容を行っています。
	15 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認をしているか	100.0				職員間のミーティングを毎日行い、当日の活動の確認と役割分担、終了後には振り返りを行い次回の活動に生かせるようにしている。 記録した担当者または活動を担当したものが、当日もしくは翌日の午前中に記録し、児童発達支援管理責任者が確認を行っている。
	16 支援終了後における職員間でその日の支援の振り返りや気づいた点等の情報共有しているか	80.0	20.0			活動前後にミーティングを実施し、その日の役割分担や活動内容の確認(準備物も含めて)を行っている。また活動実施後についても児の活動時等の様子や自由時間の状況について各自が報告しみんなでも共有しています。 今後もこのようなPDCAサイクルを常に意識し、個別支援計画やモニタリング時やサービス利用計画にも反映していきたいと思えます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0				長期休暇時のみの利用者については難しいが適宜実施している。保護者や相談支援専門員と一緒にそれぞれの計画の確認を行い、次の計画に取り入れて欲しいこと等話し合っている。
18 定期的なモニタリングの実施や放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100.0					
関 係 機 関 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0				サービス担当者会議の参画は双方の日程の都合で難しい。しかし長期休暇時の関係機関連携会議時は出席してもらい共有を図っている。 サービス事業所・相談支援事業所・学校等の関係機関の日程調整を早めに行い実施できるよう努めます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認)連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100.0				毎月下校時の確認や緊急時の下校の場合は学校との連携を必ず行い対応を行っています。 通常時の送迎確認については年度初めに学校と確認を行い、変更時は担任の先生から事業所に連絡を頂くようにしています。
	22 医療的ケア児が必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整えているか	40.0	60.0			保護者と医療的ケア児コーディネータである相談支援専門員と受け入れる前に情報を収集し態勢を整えています。また事業所には看護職員を2名配置しています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100.0				毎年、発達支援事業所と連携し保護者の説明会を実施し利用に繋がった場合は相談支援専門員も含めて情報の共有を図っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等についての十分な情報提供等しているか	80.0	20.0			転勤などの際には転出先の放課後デイサービス等に保護者の了解の基、連携を図っている。 個人ファイルを活用し日々の様子などをお伝えしていきたい情報の共有を図りたいと思えます。
	25 児童発達支援センターや発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0				年に数回市外の発達支援センター主催、愛媛大学の研修会に参加をしています。 今年度はコロナ禍のためZOOMにて受講をしています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100.0				長期休暇時には市立図書館や児童館(市内外)に行って交流の場を設けていますが、今年はコロナ禍で外出や交流行事は中止としています。 交流や活動する機会を設けた場合には保護者にお写真等を送付したり入り口に掲載します。
	27 (地域自立支援協)協議会等へ積極的に参加しているか	60.0	20.0	20.0		専門部会員の子ども福祉部会の委員ではないので参加はできていない。しかし同じ法人の児童発達支援管理責任者が参加しており情報の共有は図るようにしている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0				個人ファイルに日々の活動や状態について記載を行い、保護者に見ていただくようにしています。 個人ファイルのより一層の充実を努めます。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100.0				愛媛県が委託して実施されているペアレントトレーニングのプリントを各利用者に配布しています。また送迎時に見ていただくように掲示もしています。 公認心理士が発達検査の結果などについて説明、助言を行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0				利用時に児童発達管理責任者から説明を行っている。	更新時に受給者証を保護者と確認して不明な点があれば説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に行い、必要な助言と支援を行っているか	100.0				モニタリング時に保護者と面接を行い相談支援を行っている。また、送迎時を利用して相談支援の機会を設けるようにしている。	モニタリング時以外にも直接顔を合わせてお話しする機会を増やします。
	32	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連係が支援されているか	60.0	40.0			今年度はコロナが一時期収まった際に市内の放課後等デイサービス事業所と合同で研修会と保護者間の交流会を実施しました。	今後とも保護者のご意見を聞きながら保護者の集まる機会を提案します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0				重要事項説明書にて丁寧に説明を行っている。子どもについては気持ちを聞きとり改善策を提示したり、環境を整えて対応している。	苦情については入り口に掲載しておりますが送迎時にも声掛けするなどして把握に努めたいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0				年に数回活動の様子を掲示したり保護者に配布している。活動概要や行事予定は月末に利用者全員に配布している。自己評価結果についてはホームページに掲載している。	
	35	個人情報に十分注意をしているか	100.0				個人情報の管理は鍵のかかる場所で行っている。関係機関との情報共有については同意を頂くようにしている。個人情報の取り扱いについては一層の注意を払います。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0				児の特性に応じた情報の伝達を実施している。相談支援専門員とも連携しそれぞれの保護者に応じた情報の伝達を丁寧に行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		80.0	20.0			見学希望者の方は積極的に受け入れるようにしていますが、コロナ禍の為現在は中止としている。
非常時の対応	38	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを作成し、保護者に周知しているか	100.0				目につきやすい入り口に置いており、待ち時間にいつでも手に取りやすい状態にしている。	引き続き入り口に各種マニュアルを置いていきます。待ち時間などに手に取ってご確認ください。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100.0				年に2回実施し消防署の方にわかりやすくお話もしていただいています。実施後は保護者の方への周知を行っている。実施した際は入り口に掲示し訓練の状況を見せようとしています。	最低でも年2回は実施したいと思います。
	40	虐待防止のための職員研修機会の確保など適切な対応	100.0				愛媛県が主催の虐待防止に関する研修会に参加したものが事業所で伝達研修を実施しています。活動の振り返り時の際も話合っています。	他事業所との研修会等も実施していきたいと思っています。
	41	どのような場合にやむをえず身体拘束を行うかについて、組織的な決定し子どもや保護者に事前に十分な説明・了解を得たうえで放課後等デイサービス計画の記載しているか	80.0	20.0			基本的に拘束はしないこととしています。身体拘束に繋がる可能性がある場合は、内容や目的を明確にするよう事業所で話し合っている。	基本的に拘束は行っていませんが、児の意思決定支援も大切にしたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	40.0	40.0	20.0		アレルギーのある児童は保護者と連携し長期休暇時等は自宅からお弁当を持って来てもらっている。またクッキングの時はアレルギーの除去を排除(卵)弁当注文時には物質の排除(エビ)は行っているが医師の指示書に基づく対応までは実施していない。	アレルギーについては事前に保護者に確認は行っている。しかし今後とも定期的に新たなアレルギーはないかも保護者に確認していきたいと思う。
	43	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有しているか	100.0				作成し、再発防止に努めている。	